



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023 4月17日  第3659回例会

会員卓話「どうする日銀 どうする静岡県経済」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
川辺 哲君

●ゲスト紹介●

米山奨学生
ソリマン・ゼヤド・アイマン・アブダラ・アブ
エルフェトさん

●会長挨拶●

会長 望月 啓行君

こんにちは。本日は、会員の日本銀行静岡支店長小泉達哉さんに卓話をしていただきます。日銀総裁が先日変わったこのタイミングで、小泉さんのお話が聞けるというのは大変貴重な機会になると思います。楽しみにしておりますのでよろしくお願ひします。いつも卓話に関連して会長挨拶をさせていただいておりますので、今日は「日本の経済状況と明治の偉人とロータリー」という題目で話をしたいと思ひます。さて、皆様最近一番驚いた経済ニュースは何でしたか？私にとっては

昨年2022年12月に報道された「日本の一人当たりGDPが台湾と韓国に抜かれる」（日本経済研究センター）というニュースです。ご存じのとおり「一人当たりGDP」は国の平均的な豊かさを表す指標ともいわれます。他のデータを調べても、この30年で他の国と比較し日本のGDPの伸びは著しく低く、またこのグラフのようにこの期間に韓国の平均賃金はドル換算で日本を追い越しました。「労働生産性」を見ても、この韓国が年平均5.9%伸びたのに対し日本は平均0.6%で、日本は生産性が上がっていないことがわかります。「失われた30年」と良く言われますが、その結果が数値として目の前に突き付けられた感じでした。そのような中、先日経済同友会桜田代表幹事の「失った30年を越えて、挑戦の時」という本を読みました。そこには、「失われた30年」ではなく、自分達で「失った30年」、自分たちが失うように行動した結果である、と認識をまずは変えないといけない。そして、日本には多くの課題があり（低い労働分配率と労働移動の停滞・長寿化人口減少社会保障・先進国で最悪レベルに傷んだ国家財政・子どもの相対的貧困・エネルギー問題・IT化の遅れ）、その課題解決を先送りしてきた結果が今の厳しい状況を作り出している。そして、まさにこの「国難」の状況下の日本を、成熟期にふさわしい国の姿に作り変えるには明治維新に匹敵する「日本のグランドデザインの変更」が必要で、今がまさにその時と大きな危機感をもって書かれています。ここで少し話を変えましょう。今回、日銀総裁が変わりましたが、来年日本銀行関係で、もう一つ大きく変わるものを皆さん覚えていますか？それは紙幣です。静岡にもゆかりのある渋沢栄一さんが、一万円札の顔になりますが、この渋沢栄一さんこそが幕末から明治に生涯をかけて「日本のグランドデザイン」を変えようとした人物でした。略歴をみると1840年農村に生まれ、幕臣となり明治維新後は役人を四年間勤め、その後実業家になりました。取組をみると、何よりも「日本を外国に匹敵する近代国家にしなければ」という危機感と使命感が行動の原点でした。そして、そのために「社会改革」に取組み、国力を高めるには民間力が強くないと日本は良くならないという考えの下、500社近い民間企業の設立、600余りにわたる社会事業にも携わりました。日本の近代国家へのシフトチェンジを成功させる大き

な役割を担った人でした。さて「渋沢栄一」と「ロータリークラブ」のつながりを見てみましょう。渋沢栄一は「論語と算盤」という考え方を説いており、これは「道徳」と「経済」は本質的に一致するというものです。「道徳なくして経済なし」というもので、これはロータリーの「超我の奉仕」の精神とまさに相通するものです。また、日本のロータリーをつくった米山梅吉も「澁澤栄一子爵と論語」で渋沢栄一を研究し「公益性の追究を理念」と企業経営を両立させることを説いていました。とすると、日本のロータリーにはこの米山梅吉が渋沢栄一を研究し学んだ精神が引き継がれているという事になります。明治の近代化国家への変革期に多くの主要産業500社の設立に関わった渋沢栄一から、日本の企業のほとんどが「論語と算盤」のスピリッツを引き継ぎ、そして米山梅吉が日本のロータリー作った背景から日本のロータリーにはこのスピリッツが込められている、と言えるでしょう。この渋沢栄一ですが、年齢が50歳超えても、非常に精力的に生涯を終える91歳まで活動をしていたということです。それを見ると、静岡ロータリークラブの皆様もまだまだ現役で動けるといことですね。経済の話に戻り、先ほどの桜田同友会代表幹事の本を読み進めると、まだ日本は国力が残っており「今が行動を起こす最後のチャンス」としています。それでは日本の強みが活かせる場所はどこか、日本の国力を復活させる提案がいくつか書かれています。その一つとして「行き過ぎた資本主義の再検討」をしなければならない。例えば富の集中化・格差の広がり等、この「資本主義の再検討」の場面こそ日本が活躍できる場所であるとしています。それは、日本には先ほどこから出ている「三方良し」の精神があるからです。もちろん自分・自社・自国にとっての価値創造を目指したイノベーションに取り組んでいかなければならないが、「利他の精神」に基づく他人・他社・他国のためのイノベーションによる社会変革も目指して行くことができ、それが日本の強みを発揮できる場所と説いています。「利他の精神」日本の多くの会社には渋沢栄一の「論語と算盤」のスピリッツが引き継がれている、そして私達はロータリアンとして「超我の奉仕」のスピリッツが引き継がれています。私たちはこの年代になっても「ロータリー」「渋沢栄一」の精神を持ち日本を価値のある国、そして世界の役に立つ国にし、次の世代に引継いでい

でなく、そこで発生するCO2を併設する農業ハウスで利用する最先端のモデルとなっています。ぜひご参加ください。

●幹事報告●

令和5年 4月24日(月) 5月1日(月)は休例会となります。次回は5月8日(月)が通常例会です。ご注意ください。

●おめでとう●

【誕生日】

●月●●日 森田昌弘さん

●月●●日 小林武治さん

●月●●日 渡辺忠彦さん

【結婚記念日】

●月●●日 牧田晃子さん・信さん

●月●●日 石川雅章さん・めぐみさん

●月●●日 疋野智男さん・淑子さん

●月●●日 山崎純男さん・千歳さん

●スマイル●

※4月10日 先週分

谷口 芳浩君

伝統と格式のある静岡ロータリークラブに入会させていただきますありがとうございます。当グランディエールブケトーカーを引き続きご愛顧お願いいたします。

寺西 彰君

伝統と格式ある静岡ロータリークラブに入会させていただきます。よろしくお願い致します。

川池 朗君、石川 雅章君

新会員の清水建設 寺西さん よろしくお願ひします。

※4月17日 今週分

石道 真奈美君

本日入会いたします、全日本空輸(ANA)の

石道真奈美と申します。伝統と格式のある静岡ロータリークラブの入会を認めて頂きありがとうございます。入社して京都→東京→仙台→東京→静岡と転々となりましたが、静岡は気候・食事・親光と楽しめそうでとてもわくわくしています。出歩くこと、美味しい食事をするのが大好きなので静岡を楽しみつつ皆様と活動していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

伴野隆一郎君

新会員石道真奈美さんをご紹介させていただきます。

○誕生日スマイル

※4月10日先週分

善生 隆文君

誕生日祝ひありがとうございます。また一つ、還暦に近づいてしまいました。まだまだ説魔化して若さをキープして行こうと思ひます。

石川 雅章君

誕生日のお祝ひありがとうございます。

※4月17日 今週分

小林 武治君

誕生日のお祝ひをありがとうございます。先日運転免許の更新に行ったら、次回は高齢者講習とのことでした。何を鍛えればよいのかわかりませんが、川崎さんに良く相談して精進します。遅くなりましたが、結婚記念日の綺麗なフラワーアレンジをありがとうございました。●年後の●●婚を平和に迎えるために積み立てを始めます。

○結婚記念日スマイル

牧田 晃子君

結婚記念日のお花ありがとうございます。夫婦共々忘れておりましたので、子供たちに結婚した頃の話をするよい機会になりました。ありがとうございます。

石川 雅章君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。先日の誕生日とあわせ、御礼申し上げます。今年には●●周年、●●婚式を迎えました。妻のありがたみをかみしめ、●●年目をスタートします。

疋野 智男君

●●月●●日にきれいなお花をありがとうございます。なんと●●回目の結婚記念日です。

○満席スマイル

※4月10日先週分

12番牧田先生テーブル 20番山元先生テーブル 13番向坂先生

※4月17日 今週分

石川さんテーブル 牧田先生テーブル 松崎さんテーブル

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数 ^{*1})	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
4/17	105	64名	—	62%

※1 出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

●臨時総会●

本日の出席者数64名。静岡ロータリークラブ細則より 会員総数の1/3の定足数を越えているため総会成立。議長は望月会長。

議案

指名委員会・歴代会長かいにて選出された次々年度会長候補 川辺 哲君の承認について

審議事項

なし

賛成多数にて議案は承認

次々年度 川辺哲会長ノミニーよりご挨拶をいただきました。

●会員卓話●

日本銀行静岡支店 小泉 達哉君

「どうする日銀 どうする静岡県経済」



～日銀の金融政策の説明と今後の経済についての問題意識の共有～前任黒田総裁は

最長2期10年間の任期でした。

その後を継いだのが、我が静岡県牧之原出身、新総裁植田和男。日銀としては初の学者出身（Ph. D）。日銀の政策は9名の政策委員会（日銀最高意思決定機関）が合議して決めています。植田さんは福井総裁の時7年間ボードメンバーだったため、日銀金融政策にも精通しています。マーケットの理論と現実をバランスする「理論のみに傾倒しないための理論的支柱」として評価されています。～どうする日銀

日銀の金融政策～日銀は日本銀行法、物価の安定を通じて経済の持続的な発展に貢献をする機関として定義されています。直接的な目標は「物価が安定的に2%上昇を遂げるまで」として周知していますが、これは物価だけを上げるのではなく、「所得を含め経済全体が物価上昇を上回る前向きな循環をするようになる」ことが前提です。物価上昇を上回る給与等の上昇をめざしていることをご理解ください。現在物価が急激に上昇していますが、供給サイドのウクライナ問題等の影響により上昇しており、本来の経済の成長に伴う物価上昇ではないとみています。直近2月の物価上昇率は3.1%だが今年度半ばには2%を下回るのではと予測しています。物価上昇及び経済循環も道半ばと判断しているため金融緩和継続の方針です。従来日銀は、短期金利の調整のみで操作していましたが、2010年台のデフレ以降、金利操作だけでは経済が動かなくなったため、他のありとあ

らゆる手段を使っています。「2%の安定的物価上昇」という目標は、過去この数字を達成した時代は無いことから、なかなか達成が難しいとの見方もありましたが、「じっくり金融緩和に取り組む」という意思表示のために設定した目標です。従来市場に任せていた長期金利も長期国債の大量買い入れによる長期金利の操作を行い、委縮した経済を刺激するためにリスク資産の買い入れも行っています。今後、短期金利操作以外の手段の「副作用」とその金融経済への影響の評価が一段と重要となります。また「出口戦略」としては、本来の短期金利のみの操作に向けて金融政策をどのように見直していくかを議論していくことが見込まれます。ただ、その見直しのタイミングや進め方は金融経済の実体をみながら議論していくもので、今の段階で確定的なことは言えません。～日銀と政府との共同声明～2010年台の安倍政権の時代から「成長戦略」「財政の規律維持」「金融緩和」の3策で日本経済を強くする方針です。今後は緩和以外の策もどう推移していくかが注目されます。～静岡県の状況～全国より多少元気がなく、個人消費は持ち上がっているが製造業の半導体不足、価格転嫁が低迷していて景況感が低迷しています。短観からは、仕入れ価格の上昇が見て取れ、販売価格に転嫁できていないことがわかります。静岡の家計の実質賃金は前年比減少、物価の上昇に賃金が追いついていません。賃上げが課題となっています。～どうする日本経済 静岡経済～経済成長のためには、総人口、就業者の割合、就業時間、生産性（付加価値）の4つの上昇が必要。簡単に生産性は上昇しないこともあるため、就業者の増加、労働時間、人口増加も含めた全体的な議論も必要と考えます。労働時間は短くなり、賃金は横ばいのため、「時間あたり」の名目賃金は上昇しています。

今後継続的に賃金を引き上げるためには、そうした時間あたり名目賃金の上昇に見合う従業員の付加価値創造を促す、又はその機会を提供する必要があります。世界に目を向ければ、世界の成長率は長年概ね3～4%が続いており、変わったのは経済の牽引役がG7から中国や途上国に変わっただけです。実質実効為替レートは95年以降低下していますが、この世界成長に絡むために、円安を追い風とし輸出やインバウンド等海外の購買力を得て、向かい風である、コスト高、人材難、に政策的に対応する必要があります。生産性向上策としては、DXや合理化による付加価値創造と共に、高く売れるものをつくり、高く買ってくれる国に売ることが必要です。ある自動車メーカーによれば「海外では四半期ごとに値上げが許される」とのことです。静岡県は、一人当たり県民所得は全国第3位。特に、所得における企業所得と財産所得が大きい。つまり企業及び資本家財産家のプレゼンスが大きい県です。今後の経済活動及び人材育成において、会社のありよう、あるいはストックを持っている人のありようが問われます。そういう意味で、ロータリーはじめ各経済団体の活動も重要と考えています。